

社会資本総合整備計画 (事後評価書)

鉄道駅のアクセス向上を推進する都市基盤整備

神奈川県、藤沢市、大和市、寒川町

平成28年3月

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月24日

計画の名称	8 鉄道駅のアクセス向上を推進する都市基盤整備							交付対象	神奈川県、藤沢市、大和市、寒川町		
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）										
計画の目標	鉄道駅周辺で施行される土地区画整理事業による都市基盤整備に伴い徒歩・自転車での鉄道駅へのアクセス向上を図る。										
計画の成果目標（定量的指標）	鉄道駅から半径2km圏内の幹線道路の歩道延長を49.4kmから53.0kmにする。										
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	
	H21当初歩道延長(km) = H21当初時点の既存幹線道路の歩道延長 H25末歩道延長(km) = H21当初時点の既存幹線道路の歩道延長 + H25末時点の都市計画道路の整備に伴う歩道延長							49.4km		53.0km	
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,107百万円	A	7,107百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%	

事後評価

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
策定主体にて実施	平成28年3月 公表の方法 神奈川県県土整備局都市部都市整備課WEBページで掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
8-A1	街路	一般	神奈川県	間接	1参照	区画	改築	開成町南部地区((都) 山北開成小田原線外)	区画整理 A=26.8ha	開成町						1,434	
8-A2	街路	一般	神奈川県	間接	2参照	区画	改築	ままた怒田地区((都) 切通しままた線外)	区画整理 A=34.4ha	南足柄市						202	
8-A3	街路	一般	藤沢市	直接		区画	改築	北部第二(三地区)((都) 石川下土棚線外)	区画整理 A=275.2ha	藤沢市						4,165	
8-A4	街路	一般	大和市	直接		区画	改築	渋谷南部地区((都) 高座渋谷駅東線外)	区画整理 A=42ha	大和市						884	
8-A5	街路	一般	寒川町	直接		区画	改築	寒川駅北口地区((都) 寒川下寺尾線)	区画整理 A=9.9ha	寒川町						422	
合計															7,107		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

1 開成町南部地区組合 2 ままた怒田地区組合

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 鉄道駅周辺で施行される土地区画整理事業による都市基盤整備に伴い徒歩・自転車での鉄道駅へのアクセス向上が図られた。			
定量的指標の達成状況	指標	最終目標値	53.0km	目標値と実績値 に差が出た要因	要素事業：北部第二（三地区）（(都)石川下土棚線外） 建物移転補償協議に時間を要した箇所の歩道整備が遅れたため。 要素事業：渋谷南部地区（(都)高座渋谷駅東線外） 他事業の進捗状況との兼ね合いにより、予定していた建物移転棟数が減少し歩道整備が延伸したため。 要素事業：寒川駅北口地区（(都)寒川下寺尾線） 建物移転補償協議に時間を要した箇所の歩道整備が遅れたため。
		最終実績値	52.3km		
			目標値と実績値 に差が出た要因		
	最終実績値				
			目標値と実績値 に差が出た要因		
	最終実績値				
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>要素事業：北部第二（三地区）（(都)石川下土棚線外） 建物移転補償の承諾は既に得られていることから事業を継続し、平成28年度中に整備完了予定。</p> <p>要素事業：渋谷南部地区（(都)高座渋谷駅東線外） 目標未達箇所の整備については、平成26年度に実施することとした。</p> <p>要素事業：寒川駅北口地区（(都)寒川下寺尾線） 現時点において、既存の道路で暫定共用がされている。目標未達成箇所については、補償協議は完了しており事業を継続し、平成28年度前期には達成予定。</p>					

(参考様式 3) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	8 鉄道駅のアクセス向上を推進する都市基盤整備	交付対象	神奈川県、藤沢市、大和市、寒川町
計画の期間	平成21年度 ~ 平成25年度 (5年間)		

